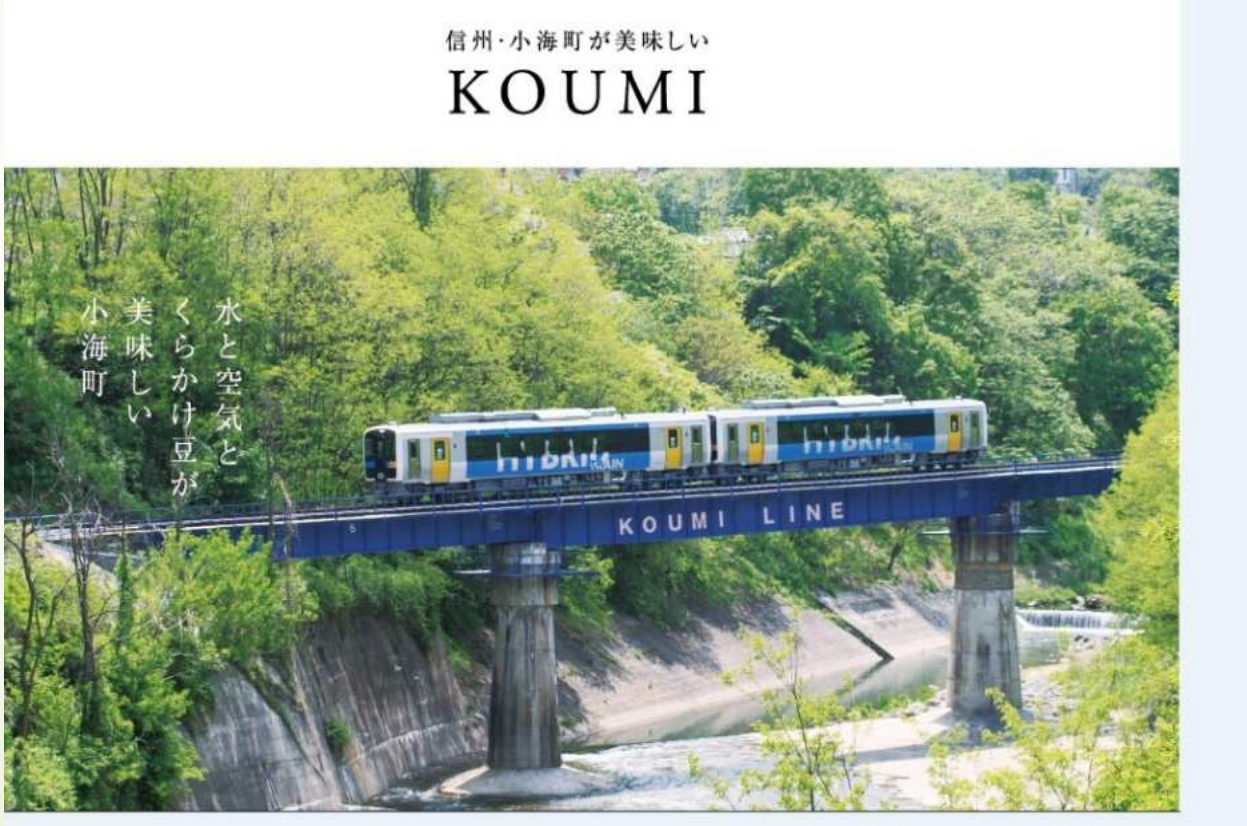
日本航海　JSP　Japan Sealion Project

地方の活力を掘り起こす

事例：長野県・小海町

㈱シーズコア　代表取締役　渡部　紘士

JSP　事例
長野県･小海町の活性化



日本政府の方針

日本政府は地方の再活性化のために、地方創生に関する取り組み強化し予算組を実行した。
農林水産省では「食のモデル地区33箇所」にスポットを当て、地方創生の取り組みを開始しその中の一箇所が『長野県の高原野菜』の活性化であった

きっかけ

2015年7月27日～8月2日まで軽井沢久世福商店にて高原野菜フェアを実施 した。小海町の『**くらかけ豆**』豆腐にスポットを当て紹介商品の中心に据え試食をした。

長野県・小海町よりの相談

- ＊市町村の合併が上手く進まなかった。
- ＊じんこう５０００人の町が過疎化が進んでいる。
- ＊農業が基幹産業である。
- ＊町おこしをしなければならない。
- ＊特産の『鞍掛豆』を中心に町おこしをしたい。
- ＊商品を作っても販路が少ない。
- ＊温泉、山登り、渓流釣り、高原野菜が名物である。

小海町プロジェクトのスタート

＊１月末にシーズコアとしてのスケジュールと予算案を提出する。実行できるか役場の判断を仰ぐ。
＊町議会の承認を待ち２月中旬に企画スタートの合意が出来て予算が確定した。
＊其のうえで町の運営する食品の加工場、販売所などの下見をする。

ヒヤリング開始

＊4月1日より具体的なヒヤリングを開始
毎月1度程度の訪問を行う
初回は、マーケットインに関しての意識共有をする。
＊２回目「以降は製品の規格をブラッシュアップし、8月の打ち合わせでカタログ完成までのロードマップを確認する。

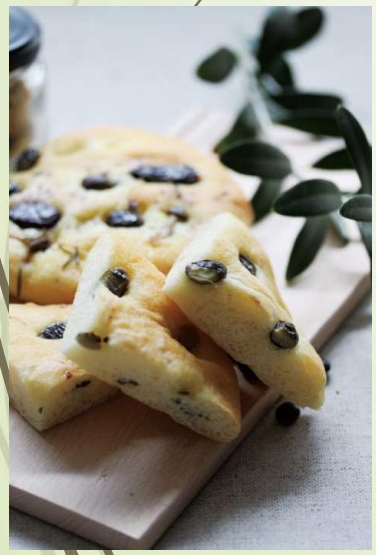
ロゴの提案

キーワードは町側よりの提案は無かったがホームページなどからイメージした色を使う。

町内の複数の生産者、加工業者が共通して使える物を検討する。

豆を使った商品提案

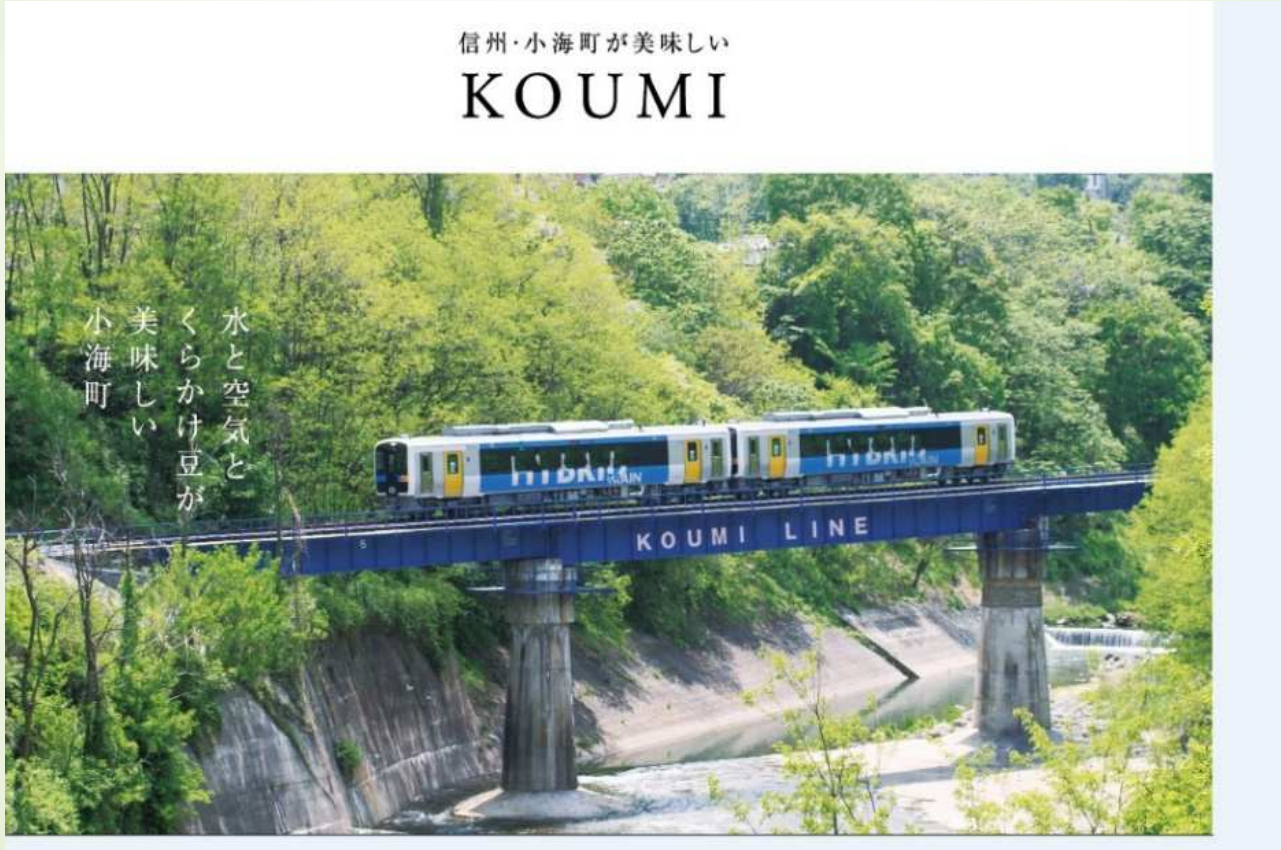
・煮豆　・フォカッチャ
・肉まん　・厚揚げ
・ジャム　・オイル漬け



展示会の準備

11月15日　自社展示会にて配布開始し、その後バイヤーを中心に配布また、ＪＳＰメンバーにも配布して攪拌の要請

小海町プロジェクト参加企業

- 高原のパン屋さん：パンの製造小売り
- 有坂きのこ園：キノコ栽培卸
- 小山豆腐店：豆腐製造卸
- 新津養蜂園：蜂蜜採集卸
- 有坂食品：漬物類製造卸
- 敷島屋：洋菓子類製造卸
- たかちゃんファーム：ジャム類製造卸

カタログ完成後にJSPメンバーに配布を開始